

「第 51 回 セメント協会研究所講演会」のご案内

(一社)セメント協会はセメントの主要水和物である C-S-H(カルシウムシリケート水和物)について種々の観点から検討する目的で名古屋大学大学院 丸山一平教授を委員長、新潟大学 斎藤豪准教授を副委員長として「C-S-H 研究委員会」を 2015 年 10 月に設置致しました。

この度、2 年間の委員会活動の成果として「C-S-H 研究委員会報告」を発行することとなりました。

広く、皆様に委員会報告の内容をご紹介するため、セメント協会研究所講演会を開催致します。また、委員会報告に先立ち、東京工業大学 物質理工学院 坂井悦郎特任教授より基調講演を賜ります。

関係各位お誘いのうえ、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：2018 年 3 月 6 日(火) 10:00~17:35

場 所：一般社団法人 セメント協会 研究所

〒114-0003 東京都北区豊島 4 丁目 17 番 33 号

(京浜東北線 王子駅よりバス利用)

定 員：100 名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

参加費：無料

※ 当日、希望者に「C-S-H 研究委員会報告書」を有償にて販売致します。

講演内容および講演者(敬称略)：

[基調講演]

「これからのセメント系材料と技術・研究開発を考える」

東京工業大学 坂井悦郎

[C-S-H 研究委員会の報告]

(1) 世界的動向、C-S-H 研究の意義、重要性、今後のあるべき姿

名古屋大学 丸山一平

(2) セメント化学的観点で理解しなくてはならない土木・建築・原子力・社会の課題

国立環境研究所 山田一夫

(3) コンクリートからみた C-S-H 研究の重要性

広島大学 半井健一郎

埼玉大学 浅本晋吾

(4) C-S-H の課題(何がわかっていて、何がわかっていないのか)

東北大学 五十嵐豪

東北大学 宮本慎太郎

(5) 分析技術でわかること、わからないこと

旭化成ホームズ 松井久仁雄

(6) 合成 C-S-H での研究の現状と課題

新潟大学 斎藤豪

申込方法：①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、E-mail アドレス、FAX 番号)を明記のうえ、E-mail または FAX で下記宛てにお申し込みください。

申込先：一般社団法人 セメント協会 (研究所)

セメント基礎・環境グループ 中曾和弘

〒114-0003 東京都北区豊島 4 丁目 17 番 33 号

TEL 03-3914-2694 FAX 03-3914-2690

E-mail kazuhiko-nakaso@jcassoc.or.jp